

平成23年度事業評価報告書（施設名 森林研修センター情報交流館）

項 目	評価できる取り組み等	改善すべき課題
1 運営に関する評価	①常勤職員は3名であるが、イベント時等はネットワークのボランティアや養成講座で育成したボランティアの応援体制もできている。 ②施設内もおおむね適正に管理され、来館者に対するパンフレットの配布や危険に対する注意喚起を行うなど、利用者の安全確保もできている。	
2 事業実施に関する評価	①事前の打ち合わせを行い学校側の要望を把握するとともに、学年・ニーズに合わせた内容でプログラムを実施するなど質の高い環境学習をコーディネートしている。 ②インターネットや紙媒体（情報誌・チラシ）、マスコミ（新聞・テレビ・ラジオ等）を利用してより広く情報発信している。また、出前授業の際に宣伝する等地道な広報活動にも努めている。	①情報交流館ネットワーク会員団体以外の関連団体との連携を望む。 ②感想やアンケート結果について県にも定期的にフィードバックを行うことが望ましい。
3 利用実績	①年度事業回数は職員が入れ替わったために、外部での授業実施回数が289回と減ったものの、当初目標（協定書の136回）以上の実績件数となっている。また、館内の事業に力を入れた結果事業参加者は11,694人と増加している。入館者数も11,043人となり、22年度と比較して約800人増加した。	
4 収支の状況	①おおむね予算どおりに執行されており、木工クラフトの材料を極力自然の素材にすることによって材料購入を控えるなど経費削減にも努めている。	
総合評価	A	①限られた管理費で、おおむね適正な管理が行われている。 ②地震防災について対応をしておく必要がある。 ③「クラフトハウス」「木工クラフトコンテスト」などの新しい企画が順調であり、来館者の増加など優れた成果をあげている。

- 【評価の基準】 A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力及び改善が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

業務の改善についての意見

改善を求める事項
①地震防災についても対応をしておく必要がある。 ②身内団体以外の関連団体との連携を望む。 ②感想やアンケート結果について県にも定期的にフィードバックを行うことが望ましい。
今後、充実させて取り組むべき事項